

2012年6月18日

ロシア関連メモ 091

国際公共政策研究センター
主任研究員 石野 務

「ロシアと中国の新たな展望」についてのプーチンの論説

1. はじめに

本稿では、中国訪問や上海協力機構サミット出席に先立ち、2012年5月5日付人民日報に掲載された、ウラジミール・プーチンによる、ロシアと中国の関係や上海協力機構についての論説を紹介する。

2. 概要

この論説では、ロシアと中国の関係や、上海協力機構についてのプーチンの考えが述べられている。

ロシアと中国の関係については、国際社会や地域問題への影響も自覚しながら協力すべきとしている。2国間では、①両国間の貿易額を2020年までに約2.5倍とする、②民間航空機製造、宇宙、その他のハイテク分野の巨大プロジェクトで協力を行う、③中国に対し石油、電力、石炭、天然ガス供給や、原子力発電分野エネルギー事業への技術協力を行うなど、経済的な協力について言及されている。

上海協力機構については、発足後11年目を迎えて、国際社会に影響力を及ぼすようになったと評価し、ロシアと中国は上海協力機構の中で政治的な協力関係を強め、経済的な協力を強化しなければならないとしている。また、国連など他の国際的組織との連携や官民連携の必要性についても言及している。

概要は以下である。

ロシアと中国の関係について

- ・ロシアと中国は、長期的な発展に対する共通の責任や、国連やその他の国際的な機構や地域的な組織における共通の努力の重要性を自覚すべきである。
- ・2国間の貿易は、2011年に835億ドルとなったが、2015年までにこれを1000億ドルに、2020年までに2000億ドルまで増やすことを目標とする。
- ・民間航空機製造、宇宙、その他のハイテク分野における大規模な共同プロジェクト開発、金融や投資の連携を行う。
- ・エネルギー関係の両国の共同事業は、世界のエネルギー市場の全ての構造形成に大きな

影響を有している。中国の国内需要に対しては、より信頼性や多様性があるエネルギー供給を提供し、ロシアに対しては、急成長しているアジア太平洋地域に対する新たな輸出ルートを開く機会を提供することとなる。ロシアは中国に対し石油、電力、石炭、天然ガス供給を行っていく。また、原子力発電分野においても技術協力を行う。

- ・ロシアと中国は、国際問題に対して、責任原則や、国際法の基本的価値観の遵守、相互の利益に対する無条件の相互敬意に基づく立場をとっている。中東や北アフリカ、シリアやアフガニスタン、北朝鮮やイランなどにおける、最も深刻な問題について、ロシアと中国の戦略的な相互関係が、地域的国際的な安定性を強化するために効果的な役割を果たすことを強調したい。
- ・健康管理、文化、スポーツ、教育、科学の分野における協力を推進することも、両国の共通の利益である。

上海協力機構について

- ・上海協力機構は、今日、急速に発展している多国間の機構である。まだその潜在能力をフルに実現させていないが、これまでの軌跡を見れば、この組織がすでに影響を及ぼす立場を獲得し、国際的なステージで自信に満ちた発言を行っていると言える。
- ・今回のサミットでは、2013年から2015年までの、テロ、分裂主義、過激主義との戦いに関するメンバー諸国のプログラムや、平和や安全、地域の安定性を脅かす状況における政治的外交的な手法や対応する仕組みについての、新たな規定の承認が行われる。
- ・テロと麻薬製造、麻薬売買の間のつながりは、もうひとつの重大な課題であり、これと戦うために、組織的な方法で協調しなければならない。
- ・ネットワーク外交が国際関係に不可欠なものになると考える。今日、上海協力機構は、国連、CIS（独立国家共同体）、CSTO（集団安全保障条約）、EurAsEC（ユーラシア経済共同体）、ASEAN（東南アジア諸国連合）、ESCAP（アジア太平洋経済社会委員会）や、他の国際的組織との連携の発展に熱心に取り組んでいる。
- ・ロシアと中国は、上海協力機構の中で政治的な協力関係を強め、経済的な協力を強化しなければならない。中国の急速に発展する経済と、ロシアの近代化に伴う潜在的な技術力や、中央アジアの豊富な天然資源を利用することのできる強みを活用することは、両国の共通の利益となる。特に、エネルギー、交通、インフラ、農業分野、ハイテク分野、特に情報とテレコミュニケーション技術に集中すべきである。
- ・上海協力機構の将来の発展の可能性の多くは、参加国の経済界や民間企業の間で、直接的なつながりが開発されることにかかっている。サミット中に北京で開催されるビジネスフォーラムが、参加国の経済協力を拡大する官民連携の広範囲な可能性を明らかにするものと確信している。

3. 仮訳

ロシアと中国: 協力の新たな展望

私は、中国訪問や上海協力機構サミット出席に先立ち、世界で最も影響力のある新聞のひとつである人民日報の何百万もの読者に、話しかける機会を得ることができ光栄です。私はこの機会に、両国の将来の相互関係や、現在世界においてロシアと中国の関係が果たしている役割に関する私の考えを分かち合っていたきたいと思います。両国の関係は、複雑な変換の途中であり、国際的・地域的な脅威に直面しながら、国際法、経済、金融の原則の混乱を収めようとしているところです。

これらの課題は全て、重要な国際フォーラムや国際サミットにおいて、論議や関心の対象となるものですが、私は、根拠のある総合的なアプローチが、今日の課題への取り組みにおいて有効であると信じています。重要なことは、頭脳明晰な経済や国際関係の専門家や政治家が皆、ロシアと中国の背後で両国の影響を考慮せずに、国際的な課題を解決することはできないことを認めていることです。

この点において、私たちは、ロシアと中国の相互関係の、長期的な発展に対する共通の責任や、国連やその他の国際的な機構や地域的な組織における共通の努力の重要性を自覚しなければなりません。

したがって、私たちは、中国の首脳と計画された集中的に開催される会議に対して強い期待を持ち、また、中国による統括で締めくくられるであろう上海協力機構サミットの、実りのある成果を期待しています。

ロシアと中国の関係は、国家間の新しい類型の関係と呼ばれてきました。私たちの関係は、先入観や偏見に捕らわれることがないものであり、短期的な考察には基づかない、確固としたものです。これは、安定性や相互理解が明確に不足している現代世界においてとても重要なことです。

2008年から2009年の世界的な金融危機は、相手の話を聞き、相手を理解し、共通の合意に基づく政策を追求することがどれほど重要であるかを、私たちに教えました。共同インフラ事業、エネルギー事業、大規模事業、相互投資は、私たちの国や民間企業が、困難に打ち勝ち、新たな職を創造し、工場やビジネスを動かし続けるための資源となります。

ロシアと中国の2国間の貿易は、2011年に835億ドルとなり、記録を更新しました。私たちは、中期計画の目標を2015年までに1000億ドルとしました。さらに2020年までに2000億ドルに届くまで努力し続けます。私たちが今日の活動を続ければ、これらの目標をもっと早く達成できると思います。

この目標のために私たちは何をすべきでしょうか？何にもまして、私たちは、2国間の貿易のシステムを最大限に利用して、付加価値の高い製品のシェアを上げることによりその質を高めることが必要です。私たちは、私たちがそのために必要とされる客観的な条件を有しています。私たちロシアの市場は、近代的な製品やサービスに対する大きな能力や成長する需要を有しています。私たちは、教育、科学、技術において基本的な面で充実しており、生産活動においても豊富な経験を有しています。

私たちは、民間航空機製造や、宇宙、その他のハイテク分野において、大規模な共同プロジェクトを開発することができます。私たちはまた、両国において、テクノパーク、工業クラスター、経済特区地域などの事業を追求することができます。私の見解では、私たちがここで必要としているのは、本当の2国間の技術協力や、私たちの企業や、研究、デザイン、技術センターを構築するために、生産や革新のつながりを結びつけることです。私たちは、相手の市場においても協働することにより、努力を継続しなければなりません。

私たちは、金融や投資の連携のために、近代的なインフラを築く必要があります。私たちが、相互の貿易や投資その他の業務において、私たちの国の通貨を用いるようにするために、より早く進捗していかなければなりません。これにより、私たちは様々な通貨リスクに対して保護され、ルーブルや中国元の地位を強化することができます。

2国間のエネルギー分野での対話には、戦略的な面があります。私たちの共同事業は、世界のエネルギー市場の全ての構造形成において、大きな影響を有しています。それは、中国の国内需要に対しては、より信頼性や多様性があるエネルギーを供給し、ロシアに対しては、急成長しているアジア太平洋地域に対する新たな輸出ルートを開く機会を提供することとなるでしょう。

すでに達成された成果の中で、私は、ロシアと中国間の石油パイプラインが年間15百万トンの石油を移送したことと、電力供給についての25年間の長期契約を締結したことを強調します。ロシアはまた、2011年に中国に対する石炭輸出を105百万トンにまで増やし、石炭貯蔵の共同事業を計画しています。私は、ロシアの天然ガスの中国への大規模な移送が、早く実現できるようになることを望んでいます。

原子力エネルギー分野における協力にもまた、多くの可能性があります。ロシアは田湾における最初の原子力発電所建設に参加しました。これは、ストレステストの結果、中国では一番安全とされるものです。昨年、私たちの専門家が、中国初の高速中性子試験炉の立ち上げを手伝いましたが、この技術の保有は、ロシア、日本、フランスに次ぐ、世界で第4番目となります。4番目のウラン濃縮装置の建設は予定より早く完成しました。私たちは、田湾原子力発電所の2号機の建設における協力継続や、中国の他のエネルギー分野の施設建築における参加についても期待しています。

私たちの関係の源や推進力は、両国の国民相互の友情と相互理解にあります。私たちは、長年に亘り成功した対話を行ってきました。今年は、中国へのロシア人旅行者の年ですが、来年はロシアへの中国人旅行者の年としたいものです。

私は、人道分野での相互協調を推進するための長期計画を描く時が来たと思います。

当然ながら、昨今の国際的な事件が、今度の訪問の議題にのびります。それには、戦略的安定性や、大量殺戮兵器の拡散防止・廃棄、さらに、テロ、分離主義、組織的犯罪、非合法的移民などの、持続可能な発展や、国民の生命や財産への挑戦や脅威への対策が含まれます。

ロシアと中国は、これらすべてについて、責任原則や、国際法の基本的価値観の遵守、相互の利益に対する無条件の相互敬意に基づいた立場をとり、類似しています。そのため、私たちが共通の言語を見出し、共通の戦術・戦略を開発し、中東や北アフリカの問題や、シリアやアフガニスタンの問題や、北朝鮮やイランの核開発など、私たちが今日直面している最も深刻な問題についての国際的な議論に建設的な貢献を行うことが容易になっています。私は、ロシアと中国の戦略的な相互関係が、地域的国際的な安定性を強化するために効果的な役割を果たすことを強調します。これが、私たちが、昨年10周年を迎えた上海協力機構の中での協力を発展させる努力を推し進めていく論理です。

私は、この機構の設立時の関係者の一人です。年月が、私たちが上海5国から、本格的な協力機構に移行させたことの正しさを明らかにしています。

上海協力機構は、今日、急速に発展している多国間の機構です。私たちはまだその潜在能力をフルに実現させていませんが、これまでの軌跡を見れば、この組織がすでに影響を及ぼす立場を獲得し、国際的なステージで自信に満ちた発言を行っていることを、確信を持って言えます。

上海協力機構は、国際政治に新しく有益なことをもたらしてきました。とりわけ、全ての参加者の間の平等性と、相互信頼、それぞれの国の統治や独立した選択、文化、価値、伝統に対する相互敬意、そして共通の発展への熱望に基づく相互関係のモデルを提供しています。その根本原理は、私が多極的な世界における国際関係において唯一見出せる基本原則を具現化しています。

上海協力機構とそのメンバーによる、広範囲、国際的なパートナーとの努力や協力は、地域におけるテロ活動の現実的な減少のために最も適切な手段でした。しかし、私たちが今日直面する課題は、いっそう多様性があり、複雑で、常に変化するものになっています。テロリズムや分裂主義、過激主義を広める者は、彼らの破壊方法を強化し、新たな戦士を雇い、資金源の拡張を継続しています。

これらの課題に対応するために、私たちは、上海協力機構の安全保障の能力開発を継続し、私たちの協力の仕組みをより効率的なものにしなければなりません。これが、今回のサミットが注目される理由です。そこでは、2013年から2015年までの、テロ、分裂主義、過激主義との戦いに関するメンバー諸国のプログラムや、平和や安全、地域の安定性を脅かす状況における政治的外交的手法や対応する仕組みについての、新たな規定の承認が行われます。

テロと麻薬製造、麻薬売買の間のつながりは、もうひとつの重大な課題です。私たちはこれと戦うために、組織的な方法で協調しなければなりません。私たちはこの協力を、上海協力機構の反麻薬戦略によって、より活発なものに発展させなければなりません。

アフガニスタンの状況は、私たちの共通の懸念のひとつです。上海協力機構は、アフガニスタンの国民が長い間苦しんだ国家の再興に対する助力に、大きな貢献をしています。アフガニスタンの監視の役割を上海協力機構が負うことについての決断は、今回のサミットで私たちが行う確固たる方策のひとつです。私たちは、アフガニスタンのリーダーのハーミド・カルザイ氏との協力について、上海協力機構の中で検討します。

上海協力機構は、広大なユーラシア大陸の安定や安全を保障する役割を持った組織として設立されました。私たちは、他国が、上海協力機構の管轄する地域で一方的な行為を行うことは、非生産的であると考えます。

同時に、上海協力機構は開かれた組織であり、興味を持ったどのパートナーとも一緒に歩む用意があります。これは、上海協力機構の設立趣意書に明記されており、インド、イラン、モンゴル、パキスタンの国々は、オブザーバー国として上海協力機構に参加してい

ます。ベラルーシーやスリランカは、上海協力機構の対話国です。トルコは今回のサミットで参加国になります。上海協力機構の活動への関心の増加を考慮して、私たちは最近、機構の継続する拡大化のために、どのような法的根拠を強化すべきかを検討しています。

上海協力機構の経験は、同意に基づくプロセスにより、どの国際的な地域に対しても、政策発展に関する興味深く見込みのある解決策を提供します。政策はまず、異なった地域的な組織で形成され、そして次に私たちの対話の一部になります。それらの地域的な「積み木」の中から、私たちは、国際的な政策や国際的な経済のために、より安定して予見可能な環境を組み立てます。

私たちは、このようなネットワーク外交が国際関係に不可欠なものになると考えています。上海協力機構のメンバー諸国は、アジア太平洋地域にかかる多国籍組織との相互協力のネットワークを発展させる際に、この動きを感じています。今日、上海協力機構は、国連、CIS（独立国家共同体）、CSTO（集団安全保障条約）、EurAsEC（ユーラシア経済共同体）、ASEAN（東南アジア諸国連合）、ESCAP（アジア太平洋経済社会委員会）や、他の国際的組織との連携の発展に熱心に取り組んでいます。

私たちは、上海協力機構とユーラシア経済共同体の間の連携の発展に大きな可能性があると考えています。私は、これらの組織がお互いの仕事を効率的に補完し、お互いを強化できるものと考えています。

私たちは、上海協力機構の中で政治的な協力関係を強め、経済的な協力を強化しなければならないことについて、全く疑っていません。機構は、最も大きな共同事業についても、その役割を遂行することができます。中国の急速に発展する経済と、ロシアの近代化に伴う潜在的な技術力や、中央アジアの豊富な天然資源を利用することのできる強みを活用することは、両国の共通の利益となります。私は、特に、エネルギー、交通、インフラ、農業分野、ハイテク分野、特に情報とテレコミュニケーション技術に集中すべきと考えています。

しかし、これには、上海協力機構において、本当に効率的な財政補助や、プロジェクトマネジメントの仕組みを必要とします。私たちは、様々なプログラムをまとめるために、共通の計画や立場を開発する必要があります。

上海協力機構の将来の発展の可能性の多くは、私たちの国々の経済界や民間企業の間で、直接的なつながりが開発されることにかかっています。私は、サミット中に北京で開催されるビジネスフォーラムが、私たちの経済協力を拡大する、官民連携の広範囲な可能性を

明らかにするものと確信しています。私たちが定めた計画を実行するために、私たちの国々の工業部門や金融部門が積極的に関与することが重要です。これら全てには、上海協力機構のビジネス協議会や、銀行間のグループの、より効率的で集中的な仕事を必要とします。

健康管理、文化、スポーツ、教育、科学の分野における協力を推進することも私たちの共通の利益です。これらの分野における機会は、上海協力機構の最も印象的な政策であるネットワーク大学において、最も納得できる形で具体化されています。これは、現在では上海協力機構のメンバー諸国の 65 の大学をひとつにまとめています。この大学は、モスクワにも支所があります。私たちは、この、非常に将来性があり、とても必要とされている事業の発展を助けるために、できる限りのことを行う用意があります。

2 回目の 10 年間に入り、上海協力機構は、成長と発展を継続しています。機構は、その基本理念や基本的な目標を固守し、同時に、国際情勢の変化への注意を継続していきます。これが、サミットにおいて、討論と承認を行おうとしている基本合意契約—「上海協力機構の中期開発計画のための基本的な指針」に反映される提案です。

私たちは、ロシアと中国間の対話や、北京での上海協力機構サミットに大きく期待しています。ロシアには中国の繁栄が必要であり、中国もロシアの成功が必要だと確信しています。私たちの相互関係は、他の者に指示されるものではなく、国際的な生活における正義や民主主義的基盤を形成し強化するものです。従って、この相互関係は現代社会に必要とされるものなのです。

中国の古い格言は、「共通の希望は、共通の努力を必要とする。」と語っています。私たちは、私たちの国家や国民の利益のために、これらの共通の努力を行う準備ができています。この仕事は、必ず立派な結果を産み出します。

以上